

平成 27 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493700361	事業の開始年月日	平成26年12月1日
		指定年月日	平成26年12月1日
法人名	日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 おんだ		
所在地	(〒 227-0062)		
	横浜市青葉区恩田町3114-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日		評価結果 市町村受理日	平成28年6月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

本人の要望思いは共同生活の中で可能な限り答えてあげ、穏やかに安心して安全に生活が出来るように支援しています。  
また、レクや外出の時間を出来るだけ設け、皆さんが毎日を変化のある楽しい生活が送れるように行事等を積極的に実施して行きます。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル 9階		
訪問調査日	平成27年11月2日	評価機関 評価決定日	平成28年2月12日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

#### 【事業所の概要】

この事業所は、東急田園都市線青葉台駅からバスで7分又は、こどもの国線の恩田駅から徒歩13分程に立地している。カルガモが群れて泳ぐ恩田駅前の川など、近隣は、田園風景も広がる自然の残った所にある。鉄骨造り2階建て、バリアフリーでエレベーターがあり、車椅子が使用できるトイレや洗面台がある。利用者の方々が主人公となり素敵な花を咲かせてほしいと名付けた花物語の名称のように、毎週業者が訪れ玄関先や庭の植樹の他、ポリウムのある季節の花を玄関や居間に飾っている。

#### 【散歩・外食などの催し物の支援】

年間計画を作成し節分、花見、買い物ツアーなどを実施しているほか、天候に配慮しながら地域の特徴が残る田園での散歩や寺家町自然公園などへドライブに出かけている。利用者の多くが楽しみにしている寿司屋での外食や家族を招いた夏祭りなどを通して、利用者が笑顔になれるよう努めており、事業所の基本理念のひとつ『笑顔を大事にして行きます』などを実践している。

#### 【介護計画と連動した介護記録】

介護計画を抜粋したメモをいつでも参照できるようにして、介護計画とケアの実践を連動させて記録している。この情報を職員間で共有し介護計画の見直しに役立てるようにしている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 おんだ
ユニット名	おんだ 1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に施設作り考え、「その人らしく生きる」「温かい心を持ち接し」この様な考えを常に持ち、実践に繋げています。	基本理念「共同生活の中でもご本人の、その人らしい部分を尊重し、安全・安心清潔をベースに笑顔の有る生活ができるよう支援します」を基に「1) その人らしく生きる姿を、温かい心を持って支援します。」など5つの項目を掲げている。理念は、玄関での掲示で共有し、日々実践につなげるよう努めている。	寿司屋での外食や7人乗りの車でドライブに出かけ、「笑顔を大事にして行きます」などの理念の実践に努めています。抛り所となる理念を周知し、更に共有を図ることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	恩田自治会主催の、どんど焼き、盆踊り、また包括主催のふれあいフェスタに利用者と一緒に地域の一員として参加しています。	恩田自治会に加入し、どんど焼きなどの催しに参加したり保育園の園庭で園児と花見をし交流している。事業所主催の健康祭りでは、広告を近隣にポスティングして住民を招き骨密度チェックなどを行い交流している。舞踏、尺八などのボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学会を開き、グループホームはどのような所かを知って頂いています。また、健康祭りを開催し、地域の住民を招き健康チェックを行なっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に一度開催し、利用者様の状況・事故・行事等を報告しています。報告後、家族・自治会長・民生員・包括等の意見を頂きサービスの向上に努めています。	運営推進会議は、家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センターの職員などが参加している。今年度は3、6、9月に開催し事業所の活動報告などがされている。参加者の意見を活かし、庭に芝生を施すことが決まっている。	

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員・自治会長・民生員の方々に関しては、運営推進会議に参加して頂き、常に情報を共有し、意見交換を行なっています。	区の介護支援課が窓口になっている。地域包括支援センターの職員とは、運営推進会議を通して協力関係を築いている。今後は、報告書を担当窓口を持参するなど協力関係を築けるよう努める意向である。	
---	---	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設理念で唱えているように、個人を尊重し尊厳が保たれる様生活をされています。また事業所内で研修も行なっています。施錠に関しては、事務員が滞在している時は施錠していません。	平成26年12月に内部研修を行い職員に理解を促している。ユニットの出口は、家族の了解を得て番号認証でロックを解除するようにしている。玄関は、主に夜間と日曜日を除き開錠している。不意の外出を希望する利用者は、「ダメ」という言葉は使わず、場面を変えるなどの対応をしている。	利用者の安全確保を優先して、ユニットの扉の番号認証が常態化することのないよう、日中事務所に職員がいる時間はロックを外すなど、徐々に検討することを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常日頃ミーティング等で様々な例を掲げ指導をしております。研修も行なっております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、内部研修を行なっていますが、今後外部研修等も踏まえ、常日頃から職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明をし、不安なく入居できる様に対応をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時は必ず家族とのコミュニケーションを図り、普段の様子・要望を頂き解決に努めています。	利用者の様子は、便りや来訪時に家族などに伝え、その際に意見や要望を聞いている。家族からの「お金を使えるようにしたらどうか」という意見を反映し、食事代を支払うなどを行っている。相談できる旨を記載した横浜市福祉調整委員会のポスターや事業所の相談窓口を掲示し家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議を実施。業務の会議だけではなく、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。	管理者は、毎月行っているスタッフ会議や日々のケアの際などに職員の意見を聞いている。行事の提案やその行事で使う物品購入の要望があった時に協力し反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ個々のレベルに合わせた業務をさせております。発注業務も、パソコンが出来る方は行なっています。また処遇改善についても、給料水準の見直しを行なっております。また残業に関しても殆んど有りませんが、あるときは快く残業をして頂いております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修を行い個々にスキルアップができる様に実施しております。外部研修に関しても、昨年度から外部研修先との契約を結び、よりスキルの高い研修ができる様になっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今は、月1回のエリア長会議を実施し神奈川エリアのグループホームの状況を把握し問題点等を話し合っております。職員同士の交流は施設研修を兼ねて、随時行っていく予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、プランを作りスタッフ全員に把握して頂き、入居後の生活が安心して安全に生活をして頂ける様に支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望・家族の思い・困っている事・を十分に把握し、本人がどのような生活・家族がどのように過ごしてほしいか？を考えながら関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個人情報をもとの職員が共有し、本人・家族が何を望んでいるかを、早い段階で見極め計画を立てていきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当施設の理念でもある、個人を尊重し尊厳を保ちその人にあつた生活をしてほしい。その為には残存の力を生かしてできる事は自分で行い、その人の要望を出るだけ叶え、人生の先輩として接して行きます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族へのお便りを活用し、情報を共有しながら、家族の要望、利用者様の要望を聞き、支えて行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は、基本的に9:00～18:00と決めてはいますが、連絡さへ入れて頂ければ、特に時間に制限はなく問題はありません。外出・外泊も連絡さえ頂くようお願いしております。	アセスメントや家族の協力を得て、利用者のこれまでの関係の把握に努めている。友人が利用者を訪ねて来た際の接待や美容院への外出、旅行などで馴染みの関係が途切れないよう支援している。携帯電話を所持している方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で行うレクに関しては（トランプ・体操・風船バレー）は皆さんと行なえるように声掛はしていますが、本人の意見を尊重しながら支援をしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了されても。お客様より相談が有った場合は対応をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の要望に関しては、答えております「牛乳・リンゴの要望等」また、要望の難しい部分に関しては家族と相談、又は会議を通して問題解決に努めています。	アセスメントや家族の話などから利用者の意向を把握している。「歌は唄うより聞くのが好き」など把握した意向は、スタッフ会議で共有している。意思疎通が困難で意向の把握ができない利用者は、現在いない。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の経歴等をファイルし、スタッフ全員で情報を共有し、今後のサービスの向上に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の一日の過ごし方は、個人記録・申し送りノート等を活用し、スタッフ全員で共有把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で、様々な意見を反映しケアプランを作成しております。	本人や家族から「自分のできる手伝いをしたい。安心して生活してほしい」などの要望を聞き取り介護計画を策定している。介護計画の見直しは、当初は3ヶ月に1度、その後は6か月に1度、ケース記録などを基にモニタリングし、見直している。変化が見られた際は、医師などの関係者とも話し合い介護計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録においての変化は、ケース記録・申し送りノート・業務日誌等から把握し、会議で情報を共有しケアプランに反映しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外でも面会を許可しており、また体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援を行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には、積極的に参加をしております。また、天気の良い日は、散歩やドライブも行い、随時外食も実施しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は、月2回のサイクルで行っています。往診日以外に関しても、体調不良であれば対応させて頂いております。急変や特別な状況の場合は、家族に連絡をしております。	1名を除き、全員が事業所の協力医を受診している。以前からのかかりつけ医への受診は、家族が対応し家族から報告を受け情報を共有している。看護師や歯科医が来訪し支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の出勤時は、必ず利用者様の健康チェックを行い、申し送りノートや介護士からの情報収集し、把握した中で主治医と連携をとり、適切な対応をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院をされた際は、病院関係者・ご家族と密に連絡をとり情報を把握しております。また、定期的にお見舞いを実施しています。退院時には立会い、今後のケアの参考にする為、病院関係者から情報を収集しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医・家族と連携をとりながら対応するよう心がけています。	「入居時に本人や家族の意向を確認し、事業所での看取りも含めて利用者にとって最良といえる選択を行う」という事業所の方針を利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針で説明している。この方針を職員も共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し常に見える場所に掲示しています。また定期的に研修を行い、周知徹底しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のため、食料・水の備蓄をしています。また、年2回の避難訓練を実施し、夜間・昼間を想定し、避難方法を周知徹底させています。近隣に関しては、夜間は周辺に住宅街は無く、協力体制が難しいと思われませんが、日中に関しては、前に会社がありますので、協力体制を整えています。	7月に消防署立会いの訓練を行っている。その際に夜間想定 の訓練も実施している。非常災害時の備蓄として紙おむつや水、60食分の非常食などを準備している。地域の方の協力体制については、田園地帯で住民が少ないという立地条件から地域の協力体制は困難なため、すぐかけつけられる地域在住の職員の連絡網を活用する意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念である、「共同生活の中で、その人らしい部分を尊重し、安全・安心・清潔をベースに笑顔のある生活」を常に考え支援しています。	職員は丁寧な声かけを実施し申し送りは、名前は出さず部屋番号で行っている。トイレについては、ドアを閉める・小さな声で排泄の確認をするなど、プライドを傷つけないよう配慮している。12月に研修を実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加は、ご本人の意志を尊重しながら決め手頂くよう支援しています。無理維持はしておりません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線にあわせながら、利用者様のペースで何をしたいかを見極め支援させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月、ご利用者様の要望を聞きながら、訪問美容を利用してまいります。また更衣時に本人の意志を尊重し、好きな洋服を着て頂くよう支援しています。選ぶ事のできない利用者様には、ご本人が似合う洋服を選んで差し上げています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニューを、掲示し利用者様が今日のメニューが理解できるようにしております。食事の準備の関しては、利用者様ができなかったりするため、今はスタッフが行っており、食器拭きはその都度声掛けし手伝っています	衛生面を重視し、まな板などを極力使用しない方針のもと、冷凍食品専門業者を利用し副菜を提供している。御飯と汁物は職員が調理している。食事を楽しめるよう、出前や寿司屋での外食などを行っている。	地域密着型サービスの特性を踏まえて、利用者と職員と一緒に同じ食事を楽しめる環境作りを検討されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量に関しては毎日、ケース記録に記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫をして摂取して頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの誘導をしています。自力では出来ない方は、職員の支援の下、ケアをしています。また、訪問歯科も2週間に一度、口腔内の診察を定期的実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	現状オムツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力現状維持を保つようにしています。安易にオムツに変えないようにしています。	利用者の様子や時間を目安に排泄パターンを把握し、誘導している。リハビリパンツを使用している方が布パンツにパット併用となった改善事例がある。個人の希望により夜間ポータブルトイレを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番大事な水分摂取の把握をしましまた要望があればヨーグルト・バナナ等を提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師と相談をしながら対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に入浴日を決めていますが、ご本人の体調・要望を把握した中で入浴をして頂いております。また、必ず入浴前には、バイタル測定を行い、時によってはシャワー欲の場合もあります。	概ね週2～3回、午前と午後に入浴している。入浴を好まない利用者には「入浴後にお好きなものを食べませんか」など、声かけに工夫をして入浴を促している。一番風呂、長湯などの希望にそった対応に努め、入浴を楽しめるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないように、適度なお昼寝をして頂くように支援しています。また夜間安眠していただける様、定期巡視を行い安全を確認し、室温等をチェックし安眠していただく様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時は必ずダブルチェックを行い、チェック者は必ず最後までご本人に飲ませたかを確認し、与薬者はご本人の前で必ず、名前・日付・朝？昼？夜？等を確認してから服薬して頂いております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い好きな方には、洗濯干し・洗い物・配膳の手伝いをして頂いておりますが、ご本人の意志を尊重しながら気分転換が出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の日はお天気と相談しながら、散歩やドライブの支援をしております。また行事の予定を決めて、出来るだけ外での行動を支援しています。	利用者の希望により、ベランダでの外気浴、近隣のコンビニエンスストアでの買物や散歩に出かけている。車で近隣の寺家町自然公園などへも出かけている。「年間催し物」を作成し地域の初詣や花見などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を持つ事を家族了解の元禁止しております。中には小さいお金を家族に確認し持っている場合も有ります。しかしご本人の希望があった場合は、一緒に買い物をする支援をします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設への本人宛の電話・手紙等があった場合は取り次いでいます。ご本人からの電話の要望があった場合は状況を見ながら、電話をさせています。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感の味わえる花などを飾り、また壁に季節の張り紙を貼ったり、かけた時の写真を貼っています。	バリアフリーで車椅子対応のトイレ・洗面台がある。玄関や居間には季節感を採り入れた様々な花が活けられている。居間に空気清浄機や加湿器を設置し利用者が居心地よく過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外に庭を造り芝生を植え、パラソルや椅子を置き、天気の良い日にはお茶や会話を楽しめるように支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは家族と相談しながら決めております。また壁に馴染みの写真等や家具を持ち込んでいる方もいます。しかし、危険物に関しては持ち込みを禁止しています。	備え付けのクローゼットがあり、事業所の備品は、エアコン、照明器具、ベッドで居室の様子はそれぞれに違っている。テレビや三面鏡、家族の写真、カーテンなどが持ち込まれ、利用者が居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フローア内のいたるところに手すりは設置して有ります。浴室・トイレにも設置してあります。また、案内板も設置済です。場所が理解できない利用者様には、其の都度誘導をしております。		

事業所名	花物語 おんだ
ユニット名	おんだ 2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に施設作り考え、「その人らしく生きる」「温かい心を持ち接し」この様な考えを常に持ち、実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	恩田自治会主催の、どんど焼き、盆踊り、また包括主催のふれあいフェスタに利用者と一緒に地域の一員として参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学会を開き、グループホームはどのような所かを知って頂いています。また、健康祭りを開催し、地域の住民を招き健康チェックを行なっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に一度開催し、利用者様の状況・事故・行事等を報告しています。報告後、家族・自治会長・民生員・包括等の意見を頂きサービスの向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員・自治会長・民生員の方々に関しては、運営推進会議に参加して頂き、常に情報を共有し、意見交換を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設理念で唱えているように、個人を尊重し尊厳が保たれる様生活をされています。また事業所内で研修も行なっています。施錠に関しては、事務員が滞在している時は施錠していません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常日頃ミーティング等で様々な例を掲げ指導をしております。研修も行なっております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、内部研修を行なっていますが、今後外部研修等も踏まえ、常日頃から職員間で話せる場を設けて行きます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明をし、不安なく入居出きる様に対応をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時は必ず家族とのコミュニケーションを図り、普段の様子・要望を頂き解決に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議を実施。業務の会議だけでは無く、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ個々のレベルに合わせた業務をさせております。発注業務も、パソコンが出来る方は行なっています。また処遇改善についても、給料水準の見直しを行なっております。また残業に関しても殆んど有りませんが、あるときは快く残業をして頂いております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修を行い個々にスキルアップができる様に実施しております。外部研修に関しても、昨年度から外部研修先との契約を結び、よりスキルの高い研修ができる様になっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今は、月1回のエリア長会議を実施し神奈川エリアのグループホームの状況を把握し問題点等を話し合っております。職員同士の交流は施設研修を兼ねて、随時行って行く予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、プランを作りスタッフ全員に把握して頂き、入居後の生活が安心して安全に生活をして頂ける様に支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望・家族の思い・困っている事・を十分に把握し、本人がどのような生活・家族がどのように過ごしてほしいか？を考えながら関係を築いて行きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個人情報をもとの職員が共有し、本人・家族が何を望んでいるかを、早い段階で見極め計画を立てて行きます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当施設の理念でもある、個人を尊重し尊厳を保ちその人にあつた生活をしてほしい。その為には残存の力を生かしてできる事は自分で行い、その人の要望を出るだけ叶え、人生の先輩として接して行きます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族へのお便りを活用し、情報を共有しながら、家族の要望、利用者様の要望を聞き、支えて行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は、基本的に9:00～18:00と決めてはいますが、連絡さへ入れて頂ければ、特に時間に制限はなく問題はありません。外出・外泊も連絡さえ頂くようお願いしております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で行うレクに関しては（トランプ・体操・風船バレー）は皆さんと行なえるように声掛はしていますが、本人の意見を尊重しながら支援をしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了されても。お客様より相談が有った場合は対応をしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の要望に関しては、答えております「牛乳・リンゴの要望等」また、要望の難しい部分に関しては家族と相談、又は会議を通して問題解決に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の経歴等をファイルし、スタッフ全員で情報を共有し、今後のサービスの向上に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の一日の過ごし方は、個人記録・申し送りノート等を活用し、スタッフ全員で共有把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で、様々な意見を反映しケアプランを作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録においての変化は、ケース記録・申し送りノート・業務日誌等から把握し、会議で情報を共有しケアプランに反映しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外でも面会を許可しており、また体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援を行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には、積極的に参加をしております。また、天気の良い日は、散歩やドライブも行い、随時外食も実施しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は、月2回のサイクルで行っています。往診日以外に関しても、体調不良であれば対応させて頂いております。急変や特別な状況の場合は、家族に連絡をしております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の出勤時は、必ず利用者様の健康チェックを行い、申し送りノートや介護士からの情報収集し、把握した中で主治医と連携をとり、適切な対応をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院をされた際は、病院関係者・ご家族と密に連絡をとり情報を把握しております。また、定期的にお見舞いを実施しています。退院時には立会い、今後のケアの参考にす為、病院関係者から情報を収集しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医・家族と連携をとりながら対応するよう心がけています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し常に見える場所に掲示しています。また定期的に研修を行い、周知徹底しています。	/	/
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のため、食料・水の備蓄をしています。また、年2回の避難訓練を実施し、夜間・昼間を想定し、避難方法を周知徹底させています。近隣に関しては、夜間は周辺に住宅街は無く、協力体制が難しいと思われませんが、日中に関しては、前に会社がありますので、協力体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念である、「共同生活の中で、その人らしい部分を尊重し、安全・安心・清潔をベースに笑顔のある生活」を常に考え支援しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加は、ご本人の意志を尊重しながら決め手頂くよう支援しています。無理維持はしておりません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線にあわせながら、利用者様のペースで何をしたいかを見極め支援させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月、ご利用者様の要望を聞きながら、訪問美容を利用しております。また更衣時に本人の意志を尊重し、好きな洋服を着て頂くよう支援しています。選ぶ事のできない利用者様には、ご本人が似合う洋服を選んで差し上げています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニューを、掲示し利用者様が今日のメニューが理解できるようにしております。食事の準備に関しては、利用者様ができなかったりするため、今はスタッフが行なっており、食器拭きはその都度声掛けし手伝って		

			います		
--	--	--	-----	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量に関しては毎日、ケース記録に記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫をして摂取して頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの誘導をしています。自力では出来ない方は、職員の支援の下、ケアをしています。また、訪問歯科も2週間に一度、口腔内の診察を定期的実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	現状オムツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力現状維持を保つようにしています。安易にオムツに変えないようにしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番大事な水分摂取の把握をしましまた要望があればヨーグルト・バナナ等を提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師と相談をしながら対応をしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に入浴日を決めていますが、ご本人の体調・要望を把握した中で入浴をして頂いております。また、必ず入浴前には、バイタル測定を行い、時によってはシャワー欲の場合もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないように、適度なお昼寝をして頂くように支援しています。また夜間安眠していただける様、定期巡視を行い安全を確認し、室温等をチェックし安眠していただく様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時は必ずダブルチェックを行い、チェック者は必ず最後までご本人に飲ませたかを確認し、与薬者はご本人の前で必ず、名前・日付・朝？昼？夜？等を確認してから服薬して頂いております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い好きな方には、洗濯干し・洗い物・配膳の手伝いをして頂いておりますが、ご本人の意志を尊重しながら気分転換が出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の日はお天気と相談しながら、散歩やドライブの支援をしております。また行事の予定を決めて、出来るだけ外での行動を支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を持つ事を家族了解の元禁止しております。中には小さいお金を家族に確認し持っている場合も有ります。しかしご本人の希望があった場合は、一緒に買い物をする支援をします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設への本人宛の電話・手紙等があった場合は取り次いでいます。ご本人からの電話の要望があった場合は状況を見ながら、電話をさせています。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感の味わえる花などを飾り、また壁に季節の張り紙を貼ったり、かけた時の写真を貼っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外に庭を造り芝生を植え、パラソルや椅子を置き、天気の良い日にはお茶や会話を楽しめるように支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは家族と相談しながら決めております。また壁に馴染みの写真等や家具を持ち込んでいる方もいます。しかし、危険物に関しては持ち込みを禁止しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内のいたるところに手すりは設置してあります。浴室・トイレにも設置してあります。また、案内板も設置済みです。場所以解できない利用者様には、其の都度誘導をしております。		



# 目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 赤松

作成日 平成28年3月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員不足の問題で、外での行事が計画的に実行できていない	月1回、外でのレクを必ず実施し、行く	職員の確保、行事担当を求め、計画的に行えるよう指導実施する	H28年3月1日 ～ H29年2月28日
2	2	自治会等の年間行事を把握してない。	自治会の会議、行事には必ず参加する	自治会の年間行事の予定表を自治会長さんにお渡し、その都度参加できるようにする。	H28年3月1日 ～ H29年2月28日
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。